

医療関連産業支援セミナー

データとIoTが支える在宅ケアの発展

令和5年 **12月7日** 木 **14:00-15:30**

第1部 14:00～14:45

看取り支援IoTの開発と今後の展望

今後、一層の人口減少社会と科学技術の利活用が進む。この流れを踏まえ、我々はこの10年間、文部科研費、厚労科研費、企業からの産学連携研究費の助成を受けて、ケアや介護の視点から、センシング機器による人の状態観察とそのデータをAI解析して緊急受診や看取りといったイベントを予測するアルゴリズムを搭載したIoT開発を目指し、研究を進めている。本講演では、これらの取り組みを紹介する。

東京医科歯科大学 保健衛生学研究科 研究科長 ふくい さきこ
在宅・緩和ケア看護学分野 教授 **福井小紀子氏**



講師紹介 東京大学医学部保健学科卒業（看護師・保健師資格取得）、2000年東京大学博士号取得。2020年より現職。厚生労働省社会保障審議会専門委員（介護給付費分科会介護報酬改定検証研究委員会）等、毎年、厚生労働省の介護サービス・在宅ケア関連の調査研究事業の委員長を複数歴任するとともに、高齢者のWell-beingをキーワードに複数の企業との産学連携研究も展開中。

第2部 14:45～15:30

テレナーシングの開発と実践

テレナーシングは、情報通信技術（ICT）と遠隔コミュニケーションによる看護活動を指す。演者らは、慢性疾患をもつ在宅高齢者を対象とした在宅モニタリングに基づくN to Pのテレナーシングを開発してきた。その具体的方法、備えるべき要件、有効性（エビデンス）と今後必要な看護師教育などを紹介し、今後の普及に向けた課題を考える。

聖路加国際大学大学院 看護学研究科 教授 かめい ともこ
亀井智子氏



講師紹介 聖路加看護大学大学院修了、昭和大学にて博士（医学）取得。2007年より現職。テレナーシング実践開発、地域在住高齢者の転倒予防、世代間交流支援開発などを研究。日本在宅ケア学会理事長、日本混合研究法学会理事長、日本在宅ケアアライアンス理事などを務める。

主催：文京区

後援：商工組合日本医療機器協会・小石川医師会・文京区医師会・小石川歯科医師会・文京区歯科医師会

一般社団法人日本医療機器産業連合会・一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ・経済産業省関東経済産業局

日刊工業新聞社・大田区・川崎市

セミナー参加の注意事項

- ◆ セミナー開始 10 分前からご入室いただけます。
- ◆ セミナーの写真撮影や録音・録画は、禁止させていただきます。
- ◆ 「Zoom」は「無料」で使用できますが、インターネットに接続するための通信料金をご参加者負担となります。「Zoom」を初めて使用される方は、必ず「接続テスト」を実施してください。

[接続テスト用 URL] <https://zoom.us/test>



- ◆ 万が一繋がらない場合は、一旦 Zoom を終了し、同じ URL から改めてログインしてください。再ログインしてもつながらない場合は、下記の「セミナーに関するお問い合わせ先」までお電話またはメールをお願いいたします。
- ◆ お申込みいただいたメールアドレス宛に再視聴用の URL をご案内いたします。

セミナーの申し込み方法

- ◆ 下記 QR コードか URL より申し込みフォームにアクセスし、必要事項をご入力の上、お申込みください。
- ◆ ご入力いただいた情報は、本セミナーに関する連絡、運営管理、及び区が実施する事業のご案内などの情報提供のために使用いたします。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_BaoT3iXHQG2Bd2ZBCWjSpA



セミナーに関するお問い合わせ先：株式会社日本医工研究所 関根

電話 03-6403-5201 E-mail event_info@j-ikou.com

※本事業は文京区の委託を受け、株式会社日本医工研究所が実施しております。